

ベトナムに学ぶ!

マネージメントはどうか?しかし働き者!

Vietnam

連合群馬第二次海外視察団は11月17~22日の6日間、大橋副会長(電機連合)を団長に総勢22名でベトナムのハノイ・ホーチミンを視察しました。

ハノイは共産国ベトナムの首都ということもあり、厳格な空気が漂う古都。ホーチミンは陽気な大都市といった印象が残りました。また、ベトナム戦争での傷跡は、戦争証跡博物館からも学ぶことができ、戦争の悲惨さと平和の尊さを強く実感しました。約10年間の戦争での犠牲者はアメリカ人の5万8千に対して、ベトナム人はおよそ300万人とも言われ、

今なお枯葉剤などの後遺症に苦しむ現地の人々がいるなど、胸を締め付けられる思いがしました。



↑工場風景



↑意見交換



現地の海外企業の視察として「JUKI VIETNAM」のミシン工場を見学し、日本では年代を感じる機械に向い、黙々と仕事に取り組む現地の労働者の姿がすく印象的でした。

しかし、現地の日本人スタッフの話では「ベトナム人はよく働くが、マネージメントをさせると難しい。」といった現状を知り、それぞれの長所・短所を織り交ぜながら、現地事情に合わせ日本企業として飛躍する姿を見ました。隣接しているどの工場も広大な敷地面積があり、うらやましい限りでした。

自然・歴史・文化それぞれの“ベトナムの顔”を観ることができましたが、まだまだ発展途上にあるこの国は、今後ゆるやかではあるが経済を含め、大きく発展していくだろうと実感しました。いつの日かまた訪れてみたい国のひとつとして、胸のなかにこの“ベトナム”が強く刻まれたのは私だけでしょうか。<秘書長 富澤>

第11回

高退連総会

群馬高退連は12月2日、勤労福祉センターにおいて第11回総会を開催しました。

総会では、代議員50名が参加する中、この1年間の活動報告、会計監査報告など1年間の総括を行い、連合群馬と一体的な取り組みの中で「高齢者が暮らしやすい社会制度の実現」など2004年度活動方針と新役員体制を決定しました。また、新規加盟組織として「JAMシニアクラブ」の加入が確認されました。

総会終了後には、連合本部生活福祉局・村杉部長を招き「2004年年金改革の動向と連合の取り組み」と題し、学習会を行いました。安心と信頼の年金制度改革に向け、厚生労働省試案の矛盾点や連合方針などについて、参加者は熱心に説明を聞いていました。

連合本部
村杉部長

○2004~5年度四役体制○

会 長	南雲 郁雄	自治労	自治労退職者会
副 会 長	宮前 精文	情報労連	NTT退職者の会
//	神保 保子	日教組	退職教
//	岩崎 利七	私鉄総連	東武労組壮健会
事 務 局 長	宮川福太郎	全通	全通退職者会
事務局次長	阿部 和彦	連合群馬	

2004
新春

労使共同セミナー

- ◆日 時 2004年1月16日(金)14:30~18:00
- ◆場 所 高崎サンパレス(高崎駅東口 徒歩3分)
- ◆参加費 1人3,000円(セミナー・交流会含む)

お申込み・お問い合わせは、
連合群馬 阿部・萩原まで

TEL: 027-263-0555 / FAX: 027-261-0549 / E-mail: info@gunma.jtuc-rengo.jp

めざまし! オンリーワン企業
~不可能を可能にする経営哲学~

講師 岡野 雅行

岡野工業株式会社 代表社員